

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 ポテトデリカ							
代表者名	氏名	池袋 節夫	役職名	代表取締役				
主たる事務所の所在地	〒399-8302 長野県安曇野市穂高北穂高2595番地1							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	0996 そう(惣)菜製造業						
主たる事業の概要	各種惣菜							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外(任意提出)の事業者						
原油換算エネルギー使用量	3266	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO ₂	自動車の台数	3	台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

3 計画書(報告書)の公表方法等

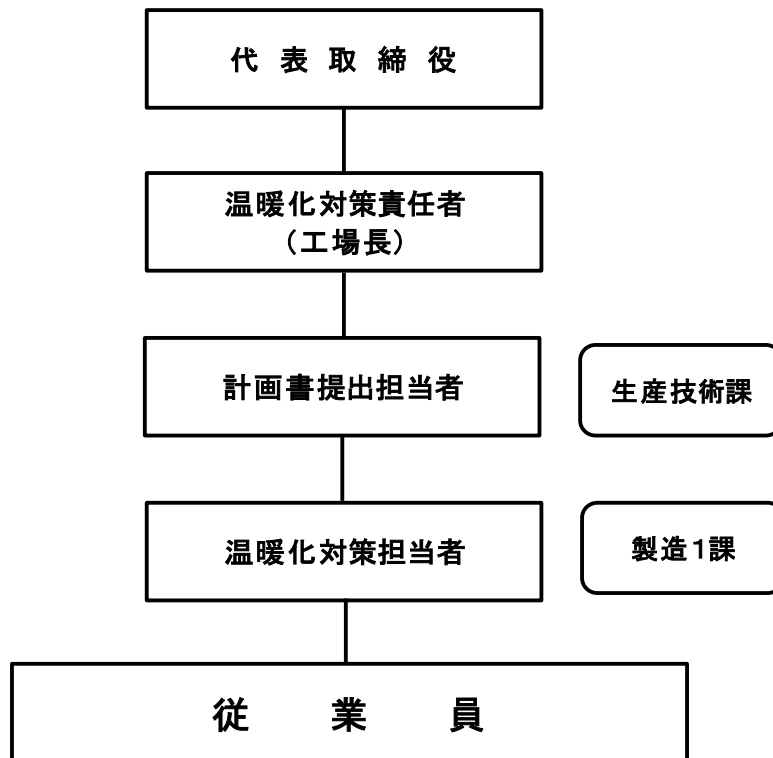
<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	閲覧場所 食堂棟 掲示板 閲覧可能時間 9:00-17:00 連絡先 総務・人事課 (TEL 0263-81-0001)
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

地球温暖化防止は人類共通の課題です。キューピーグループでは地球温暖化の原因となるCO2排出量の削減のため、省エネルギーや燃料転換などに積極的に取り組んでおり、製造工程での効率改善、設備の導入などによる省エネルギーのほか、A重油から都市ガスへの燃料転換を進めています。

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

株式会社 ポテトデリカ 地球温暖化対策 組織図



様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	7,636	t-CO ₂	生産量	16.18	単位	千 t	
25年度	調整後排出量	6,653	t-CO ₂	基準原単位	472.09	t-CO ₂ /	千 t	
目標年度	目標排出量	7,407	t-CO ₂	目標原単位	457.93	t-CO ₂ /	千 t	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	<p>毎年1%ずつの削減目標とする。 尚、松本工場は25年度に本社工場に移管になった。 エネルギーと生産数量は正の相関がある</p>							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	7,393	t-CO ₂	生産量	16.70	単位	千 t	
	調整後排出量	7,365	t-CO ₂	原単位	442.69	t-CO ₂ /	千 t	寄与度の合計から求めた目標削減率※
26年度	削減率	3.18	%	削減率	6.22	%		
排出量等の増減理由	<p>ボイラー燃料のA重油をLNGに変更しました。 松本工場の全てを穂高工場に移管した。 低炭素電力の利用によるクレジット量大幅増加(28→3,648)t-co2</p>							
第二年度	排出量	6,783	t-CO ₂	生産量	16.66	単位	千 t	
	調整後排出量	6,763	t-CO ₂	原単位	407.14	t-CO ₂ /	千 t	寄与度の合計から求めた目標削減率※
27年度	削減率	11.17	%	削減率	13.75	%		
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の稼働率を向上させることで、LNG使用量・電力使用量を減少させた。 ・グラタン生産数量減少(平成27年12月)により大凍結庫の電力使用量が減少した 							
第三年度	排出量	6,506	t-CO ₂	生産量	17.60	単位	千 t	
	調整後排出量	6,480	t-CO ₂	原単位	369.66	t-CO ₂ /	千 t	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	削減率	14.79	%	削減率	21.69	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気配管の漏れ対策推進によるエネルギー損失の防止向上 ・グラタン生産中止に伴う高エネルギー使用設備の廃止 							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
25年度	調整後排出量	0	t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		前年度の目標から求めた目標削減率※
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		前年度の目標から求めた目標削減率※
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		前年度の目標から求めた目標削減率※
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		前年度の目標から求めた目標削減率※
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	5	t-CO ₂			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	120601 バッチ殺菌 冷却槽の水回収	H27	2.6	H27	2.6(100%)
2	エネ起	130105 フローバルトを省エネバルトに交換	H28	4.1	H26	2(50%)
3	エネ起	320206 サラダ1・2号機生産稼働時間短縮 稼働率10%向上 →1号連続殺菌器・SSB オーバーホール	H27	6.7	H27	6.7(100%)
4	エネ起	330208 加工場空調機室内機・室外機コ イルの洗浄	H26	2.6	H26	2.6(100%)
5	エネ起	360705 エア・水漏れ箇所の修理による 流量の削減	H27	0.1	H28	0.5(500%)
6	エネ起	360705 シロッコファンのメンテナンス による空量負荷の低減	H26	0.5	H28	0.1(20)
7	エネ起	380752 LEDの導入	H28	0.5	H26, H28	0.2(40%)

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
なし						

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂	0				
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂	0				
J-クレジット制度によ り創出されたクレジット	tCO ₂	0				
県が認証したクレジット	tCO ₂	0				
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	983		28	20	26
低炭素電力の利用	tCO ₂	0				

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	7,017	1	7,393	1	6,783	1	6,506
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	1	619						
合計	2	7,636	1	7,393	1	6,783	1	6,506

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	1	1	1	2
電気自動車	0	0	0	
燃料電池自動車	0	0	0	
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	
その他	1	1	1	1
合計	2	2	2	3
自動車総数	2	2	2	3
次世代車導入割合	100	100	100	100

様式1号
(総括票)

14 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特に無し
その他	

15 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	・マイカー通勤率79.7%です。松本などの通勤者にマイクロバス1台を使用
公共交通機関の利用促進	出張は公共交通機関を利用する(回数券準備)
来客者の交通対策	
物流の合理化	輸送手段は親会社の物流幹線を利用している

16 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

17 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	省エネルギー推進委員会を設置し、従業員への啓蒙、パトロールを行っております。
第一年度実績	省エネルギー推進委員会を設置し、従業員への啓蒙・パトロール実施
第二年度実績	省エネルギー推進委員会を設置し、従業員への啓蒙・パトロール実施
第三年度実績	省エネルギー推進委員会を設置し、従業員への啓蒙・パトロール実施

18 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	重油よりLNGへの変更実施(ボイラーも変更) デマンド監視システム導入 設備エネルギー使用量の見える化(環境あんどん)	10
その他		